

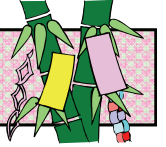
アスモ・たんぽぽ新聞

アスモ新聞はアスモのホームページ <http://www.asumo-kaigo.jp/> からご覧になれます。
上記のアドレスが【在宅介護センター・アスモ】で検索してください。

「人に喜ばれる仕事を！！」のアスモは、みなさまとの新たな出会いをお待ちしております。

平成22年7月発行

第58号



〒165-0026

中野区新井1-26-4
オスカーマンション2F

☎ 03-5318-4007



代表取締役 花堂浩一

「ワールドカップの贈り物」…①
ワールドカップ、南アフリカ大会。
日本代表の決勝リーグ進出、その活躍は多くの人に夢や希望、勇気を与えてくれた。特に決勝リーグ進出を決めたデンマーク戦は、皆、固唾を呑んで見守ったことであろう。



しかし、その戦いを複雑な気持ちで見ている日本人もいた。

2002年、日韓ワールドカップでデンマークのキャンプ地を誘致した和歌山県の方々である。

デンマーク代表の練習の見学者は、誘致当初、いわゆる『野次馬』ばかりで数百人程度であった。

ワールドカップ出場国のキャンプ地での練習というものは本来非公式、非公開が通例であるが、デンマークは練習初日からチームの意向で全ての練習を公開した。さらに練習後には選手が気軽にサインに応じ、見学に来ていた地元サッカー少年たちと一緒にミニサッカーを行ったり、練習の指導もした。デンマークの代表チームは「フレンドリーで気さくな人たちばかり」と評判になり、徐々に見学に訪れる人が増えていき、初日の数百人の見学者が2、3日後には3000人を超える人に膨れ上がった。

この監督にある記者が「他国は練習を公開しないで、試合に備えていますけどデンマークはこれでもいいのですか？」と聞いた。

すると、デンマーク・オルセン監督は

「我々の強さは練習を秘密にしたところで変わらない。絶対的な自信をもって試合にのぞむだけだ。何より、キャンプ地を提供してくれた和歌山の人たちが喜んでくれることはほとんどんするべきなんだ。試合も大事だが、この交流を大事にしたいと選手全員も言っている。」と答えた。

オルセン監督には他にもエピソードがある。

誘致にあたってホテル側の一番の懸念は食事の問題であった。トラブルを避けたいホテル側は、滞在の初日に監督の部屋を訪れた。するとオルセン監督は、「料理は全てお任せします。」そして、「和歌山で有名な食材は何ですか？」と尋ねた。「和歌山では魚、特にカツオという魚が有名です」と。それでは、あなたが腕をふるって、そのおいしいカツオを選手たちに食べさせてください」と言った。この言葉に「コック長は大変感激し、デンマークの大ファンになった。」

この『良き姿勢』は監督だけではなく、選手たちも同様だった。最初の食事時、ある選手が通訳に尋ねた。「デンマークでは食事するとき神への祈りをするのだが、日本では食事を始める時に何かするんですか？」…デンマークは国民の9割がプロテスタントである。神への祈りを終えてから食事を始めるのが慣習である。通訳は「日本でもキリスト信者は神に祈ってから食べますが、たいていは手を合わせていただきます」と言っただけから「食べます」と答えた。

すると彼は…「どうやるの？」と通訳に聞きつつ、手を胸の前で合わせた。「そうそう！その両手をもう少し上に上げて！」と通訳。その言葉に彼は顔の前まで手を上げ、その姿のまま、コック長の方へ向き頭を下げた。それを見ていた他の選手たちも彼にならい、手を顔の前で合わせた。選手たちは帰るまで、食事のたびに手を合わせて食事を摂った。

コック長は「今の日本人はいただきます』『ちそうさま』を言えない人が多いのに、外国の人にあんなことされたらね。むちゃくちゃ嬉しかったですよ」と言った。

（このトマソン選手には別のエピソードがあります。そのお話はまた後日ご紹介させていただきます。）

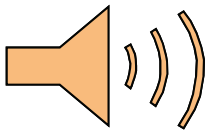
我々は日々の生活の中で大切なことを忘れていくと気づくときがある。気づいたことや教えられたことを素直に実践しようとする姿勢が周りの人に感動や共感を与え、応援者が増えていくのだと思う。

私が以前、少年野球のコーチをしていた時、伸びる子供とそうではない子供の違いは、あきらかに素直さであると実感した。素直に聞けない子供は、教えられることも減っていく、可能性の芽を自ら摘んでしまっていると残念に思ったものである。

仕事においても最近若いスタッフが増えて来たが、それは同じではないかと感じている。

デンマークの選手達の教えてくれた姿勢が、知識や技術以上に大切だということ、私たちが「素直に」学んでいきたいと思っている。





お知らせ

平成22年7月1日付けでサービス提供責任者の **千田敦子** がアスモからたんぽぽに異動になりました。

たんぽぽでも、コツコツ頑張ります。

よろしくお願いいたします。

平成22年6月21日からアスモに新しいサービス提供責任者として、**本田慎也** が入社いたしました。

サービス提供責任者としての経験も豊富な春日部出身の30歳です。おだやかな風貌の中にも芯の強さが感じられます。今、一番の楽しみは？と聞くと、6歳の息子の少年野球に付き合ったり、4歳の娘と公園でおいごっこをすることという、子ぼんのうなお父さんです。

よろしくお願いいたします。

事務所にお立ち寄りの際はお声を掛けてください！



ス。靴を履くのは濡れないのでお
ん。靴下が濡れないのでお
は、靴下の上履いてから
持ち歩き、急な雨のとき
他にスニーカーの袋を2枚
再利用して手作りで作成な
さらったそうです。



アスモのヘルパーさんは、
写真のようなビニール製の
足カバーを常に持ち歩いて
いるそうです。小さくたた
むと場所を取らず、激しい
雨でも足元が濡れなくて便
利です。カップのズボン
脱ぎ履きが大変だという方
もいるので試してみる価値
はありそうです。

梅雨明けも間近。雨の日は、
ヘルパーさん方も色々とい
夫さん、特に足元に工夫さ
れていらっしゃるようです。

ヘルパーさんの智慧袋



アンパンマン先生のここから健康になりましょう

はじめまして！ケンコー先生より引き継ぎました、アンパンマン先生こと平井克弥です。

今回は骨盤の歪みによる体への影響、対処法をお伝えします。

みなさんは普段、左右の足の長さが違うと感じたことはありませんか？ズボンの裾の長さは左右で同じですか？

人それぞれ若干の足の長さには違いがありますが、これは殆どの場合骨盤の歪みによって引き起こされます。

それではなぜ、骨盤が歪んでしまうのでしょうか？

それは日常生活の行動・動作です！デスクワーク、長時間の立ち仕事、車の運転、スポーツ、座り方、歩き方、寝方など全てです。

歪みの原因として代表的な動作は座る際に足を組むことです。足を組むと必ず骨盤の位置が前後にズレます。これを長時間続けると、骨盤周辺の筋肉・靭帯に影響して、立った時に左右で足の長さが違ってきます。座るときに足を組むことは避けるように心がけましょう。

骨盤の歪みによって、腰の痛み、背中への痛み、肩首の痛み、内臓下垂、背骨の歪みなどさまざまな症状が出てきます。これらの症状は骨盤の歪みを治すだけで、改善されるケースがたくさんあります。

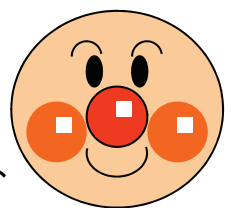
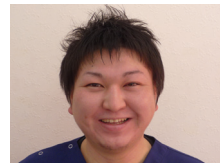
ここから整骨院では、骨盤の矯正にも力を入れています！手技での矯正やトムソンベッドという特殊なベッドを使つての矯正もあります。患者さんの症状に合わせて、的確な治療を行います。歪みを無くすアドバイスもします。

夏に向けて、姿勢改善しませんか？

ここから整骨院

〒165-0034 東京都中野区大和町1-65-4 増田ビル1F JR 高円寺駅北口徒歩5分

TEL&FAX 03-5364-9090



アスモ・たんぽぽ新聞第58号



発行所 在宅介護センター・アスモ